

# 指導班だより



今回は、7月5日（金）に行われた、柴田町立船迫中学校の学校訪問での「2年生学級活動」の授業を紹介いたします。自己理解を深めて自分の価値を見だし、自己肯定感を高め、よりよく成長していこうとする態度を育てる授業でした。他者との意見交換の場や、構成的グループエンカウンター（以下SGE）を活用して、自分だけでなく、友人など他者からの客観的な意見を取り入れながら「自分の長所」に気付くことをめざした実践です。

柴田町立船迫中学校 2年学級活動「自分の長所を知ろう」

- 事例のポイント**→自分で考え、学び合う学習活動の工夫
- ①学習意欲を喚起する「学習課題」を明確に提示する。
  - ②個人で考える場面と学び合う場面の設定。「SGE」の活用。
  - ③分かる喜びを実感させる「振り返りの時間」の設定。

**授業を支えるもの**

- 男女が協力し、学校生活に意欲的に取り組む学習集団
- 授業者と生徒の人間関係の醸成

＜本時の指導案概要＞

＜本時の目標＞

- ・自分の長所を考えるという課題に関心を持ち、意欲的に活動しようとしている。
- ・友達の長所に気づき、適切に伝えることができる。
- ・自分の考えや友達の考えから、自分の長所を発見し、表現することができる。

指導過程

展開	学習活動	形態	○教師のはたらきかけ ※指導上の留意点 □5つの提言	視点《》 評価[]
導入 5分	1 意識調査の結果を知る。	一斉	○長所があると回答した生徒が少ないという事実を全員で共有する。長所に着目できるよう、短所についての結果は掲示せず、口答で伝える。	＜視点1＞①
	2 本時の課題を知る。 自分の長所を発見しよう！	一斉	○自分の長所を知ることの大切さ、これからの進路学習との関連について簡潔に伝える。 ○ワークシートを配布し、学習課題を記入させる。□提言3	＜視点1＞②③
展開 35分	3 先生の長所を発表し合う。	一斉	○自分の長所について考える活動のウォーミングアップとして、担任の長所を挙げさせる。 ※発言がない場合は、担任自ら長所を挙げ、自己開示をする。 ※生徒の発言を認め、温かい雰囲気になるよう留意する。□提言2 ※「優しい」「面白い」などの単語での発言には、「どんなところが」などの問いかけを行い、具体性をもたせるようにする。	
	4 「言葉のプレゼント」を行う。 (1)自分の長所を考える。 (2)生活班で友達の長所「言葉のプレゼント」を伝え合う。 ＜進め方＞ ①班長の司会で進める。 ②一人の生徒に他の班員から一斉に言葉のプレゼントを贈る。 (3)「言葉のプレゼント」を聞いて、改めて自分の長所を考える。	グループ	○自分で考える長所と友達が思う長所を比較して考えられるようにする。 ※書けない生徒には助言を行う。無理に書かなくてもよいことを伝える。 ○友達の長所発見シート（数日間班員の長所を探して記入したプリント）を用いて、言葉のプレゼントを贈る。長所発見シートを切り取って、該当する生徒に渡す。渡された生徒は、ワークシートに貼り付ける。 ※冷やかしかからかいなどふざけた発言はしないことを確認する。 ○グループ活動が活発に行われるように机間指導を行い助言する。 ※班長が進行を担当し、班員一人ひとり順番に発表させるよう指示する。 ○自分でも意識していた長所と、新たに発見した長所に分ける活動を行い、自己理解を深めさせる。 ※考える時間を確保する。□提言4	＜視点2＞① ア（ワークシート） ＜視点2＞② イ（ワークシート） （発言）
	5 自分の長所を発表する。 （指名）	個人	○数名の生徒を指名し発表させる。（嬉しそうな表情の生徒、意外な発見や驚きをしている生徒等）	＜視点3＞① ウ（ワークシート）
まとめ 10分	6 今日の授業を振り返る。	個人	○記入時の様子や内容をもとに、ケアが必要な生徒がないか確認する。 □提言3,4	＜視点3＞②
	7 教師の話聞き、自分自身を知る大切さを確認する。	一斉	○自分の長所を知り、それを生かして生活すること、長所をさらに伸ばしていくことが、今後のよりよい生き方につながることを確認する。	

＜授業の実際・生徒の様子＞

＜導入＞事前アンケートでは「自分に長所がある」と回答した生徒が42%であり、生徒から「少ない！」と驚きの声が上がった。クラスの傾向を全体で共有し授業がスタート。

＜展開＞ウォーミングアップとして「担任の長所」を考える場を設定。次の「自分の長所」を考える活動につながり、学習の見通しをもたせることができた。



＜展開＞友達の長所発見シートを活用  
①グループで友達の長所を伝え合う。  
②個人で自分の長所を改めて考える時間を設定した。（鉛筆で書く音しか聞こえない真剣な時間が流れた）

＜終結＞冷やかしかからかいのない安心感のある雰囲気の中、三分の二以上の生徒が進んで発表した。中には自己開示をして発表する生徒もあり、自分を見つめ直す姿が見られた。

◎随所に教師のさり気ない温かな言葉、真剣に考えることの大切さを伝える教師の思いがあった。教師と生徒の信頼関係のよさが分かる時間だった。